

# 日本財団を のぞいてください。

ハンセン病  
制圧プロジェクト  
-885万人  
(昭和50年から平成8年)

会長の給与  
0円  
(平成8年度)

日本財団の会長、理事長は無給です。

笹川グローバル  
2000  
77.1億円  
(昭和60年から平成8年)

アフリカの貧困と飢餓を軽減し、  
トモロコシなどの主食作物の自  
給自足をめざす農業技術指導プ  
ロジェクトを現在12か国で展開し  
ています。

日中医学  
奨学金制度  
39.4千万円  
(昭和62年から平成8年)

1987年にスタートし、毎年100名ずつ  
中国人選手と選手を育成し、4年  
間、わが国の拡大や研究機関  
にて学ぶ制度。過去10年間で  
1,000名が15の施設にて研修し、  
大学教員77名、助教授20名が  
誕生しました。帰国した研  
究者は中国全土で医療向上のため  
に活動しています。この制度は更  
に10年継続することになりました。

メガフロート  
研究開発  
30億円  
(平成7年から平成8年)

世界で60億人の広さしかない日  
本には、自由に使える土地がほ  
とんど残されていません。海上に  
100m×200mの狭くても「島」の  
お化けを敷きつめて、空港や石油  
基地、緊急時の避難所などに  
利用するメガフロート計画、海上に  
新しい大地を創る研究です。

いま、どこにいても何が最も  
必要とされているのか。  
私たちは自分の目で見極め、  
支援活動を行っています。  
失敗をおそれず  
勇気をもって行動すること。  
社会に新しいオープンな動きを  
その積み重ねをここに  
ご報告します。

ボランティア  
支援  
1,270件  
(平成5年から平成8年)

福祉・環境・伝統文化など、国  
内のボランティアグループが行う  
車の提供などの活動にも、100  
万円を限度とした支援を行って  
います。

福祉車両寄贈  
231台  
(平成6年から平成8年)

車いすの方の自立や社会参加を  
支援するために、車いす用のリフ  
ト等が付いた福祉車両を全国の移  
住ボランティア団体や福祉施設  
などに提供しています。寄贈す  
る福祉車両の管理は、当該団体  
定の数タイプの中から団体の意  
見をあわせて選んでもらっています。

マラッカ海峡の  
航路整備  
83億円  
(昭和44年から平成8年)

日本の輸入する原油の約8割が  
通過するマラッカ・シンガポール  
海峡は、世界有数の難所。安全な  
航路のために船団の作成や、  
灯台、航路標識の設置などを受  
けつて、日本の生命線を守り続  
けています。

原油流出事故対策  
106億円  
(昭和40年から平成8年)

四方を海に囲まれた海洋日本  
の海上災害を防止するため、油  
漏れ防止やオイルフェンス、油回収  
設備の開発などを支援して、平成  
2年、第1回三國府府のシ  
ンタカ一重油流出事故に對し  
て、災害ボランティア援助  
を含め緊急支援を行いました。

テレビ番組  
字幕放送の提供  
136.1  
千円  
(平成6年から平成8年)

耳が不自由な方がテレビを楽  
しめるよう、記号・アニメ・教育  
の3分野にわたり、字幕放送の  
番組を提供しています。アメリ  
カの4大ネットワークでは番組の  
約70%が字幕放送ですが、  
日本の民間放送では数%程度で  
あるため、率先して活動しています。

## 平成8年度も4つの事業分野を柱に活動しました。

海外奨学金事業  
(主事業)  
152.4億円  
(平成7年度)

海外奨学金事業  
(主事業)  
215.3億円  
(平成7年度)

ボランティア  
支援  
10.6億円  
(平成7年度)

海外協力事業  
(主事業)  
80.9億円  
(平成7年度)

## 平成8年度の決算報告です。

●事業会計方針  
1. 一事業一基金を基本とする(主事業一基金)  
2. 有価証券の評価基準及び評価方法について  
3. 有価証券の評価基準及び評価方法について  
4. 引当金の計上基準について  
5. 有価証券の評価基準及び評価方法について

●事業会計方針  
1. 一事業一基金を基本とする(主事業一基金)  
2. 有価証券の評価基準及び評価方法について  
3. 有価証券の評価基準及び評価方法について  
4. 引当金の計上基準について  
5. 有価証券の評価基準及び評価方法について

●事業会計方針  
1. 一事業一基金を基本とする(主事業一基金)  
2. 有価証券の評価基準及び評価方法について  
3. 有価証券の評価基準及び評価方法について  
4. 引当金の計上基準について  
5. 有価証券の評価基準及び評価方法について

●事業会計方針  
1. 一事業一基金を基本とする(主事業一基金)  
2. 有価証券の評価基準及び評価方法について  
3. 有価証券の評価基準及び評価方法について  
4. 引当金の計上基準について  
5. 有価証券の評価基準及び評価方法について

●事業会計方針  
1. 一事業一基金を基本とする(主事業一基金)  
2. 有価証券の評価基準及び評価方法について  
3. 有価証券の評価基準及び評価方法について  
4. 引当金の計上基準について  
5. 有価証券の評価基準及び評価方法について

支出総額  
約614.7千万円

支出総額  
約614.7千万円

支出総額  
約614.7千万円

支出総額  
約614.7千万円

支出総額  
約614.7千万円

## 日本財団の概要です。

国家のお金ではありません。  
私たちの活動資金は

競艇の売上の  
3.3%

によってまかなわれています。

日本財団  
The Nippon Foundation

?

日本財団を、もっとのぞきたい。  
もっと知りたいという方は  
インターネットのホームページで24時間、情報を公開しています。  
<http://www.nippon-foundation.or.jp/>  
お問い合わせは、日本財団広報課まで TEL.03-3502-2375

初任給  
22万円  
(平成8年度)  
(4年制大学卒)  
給与、給与手当

日本財団を、もっとのぞきたい。  
もっと知りたいという方は  
インターネットのホームページで24時間、情報を公開しています。  
<http://www.nippon-foundation.or.jp/>  
お問い合わせは、日本財団広報課まで TEL.03-3502-2375